

http://www.minamih.net/



13・8・17(土)
南NEWS NO33

謹んで哀悼の意を表します

南八王子サッカークラブ Jrユース
和田監督の御尊父様ご逝去

和田 政之介様 享年90歳
平成25年8月5日 午前4時30分
ご逝去

南八王子少女第22期生 和田理恵さんのおじいさんです。

心よりご冥福をお祈りいたします

南八王子サッカークラブ代表 矢上健一

遅くなって申しわけありません。矢上の掲載が遅れました。

Jrユース拓大杯

6月2日(日) 拓殖大学

○1回戦

南八王子1-3東京ウエスト 前半0-2 得点 小林君

本日は、拓大杯1回戦。相手は東京ウエストとの試合となりました。

前半の初めは、攻められる時間帯が続くものの、GK牛窪君のファインセーブや、ポスト・バーに助けられるラッキーも重なり、早い段階での失点はありませんでした。しかし前半半ば、相手からDF同士の間縦パスが入り、受けた相手FWが反転して突破。GKが飛び出し、一回は弾き出すものの、2列目にこぼれを拾われ、バイタルエリアからのミドルを叩き込まれて失点。この失点の後から、南八の運動量もより上がり、前からのプレスも効率良くかけられるようになり、徐々に流れを掴み始めました。船津君のFKがバーに当たり、古屋君が詰めるというチャンスも生まれましたが惜しくも得点には至りませんでした。

前半終盤に全体が前がかりになったところをロングボールでカウンターされ、失点。このまま前半は終了となりました。

後半には、一瞬気が緩んだのか、マークが甘くなりミドルをコースに正確に打たれ0-3。その後も危ない場面が続きました。その中でも、後半途中に小林君を投入し、その小林君を中心として効率の良いディフェンスを行うこともでき、結果、奪ったボールを船津君が中央で受けドンピシャのスルーパスを送り、裏に抜け出した小林君が落ち着いて沈めて1-3。一矢報いた形になりました。

また後半には、前半よりもシュートで終わる意識が強まり、工藤君のミドルや、スペースに抜けた中西君のシュートなどチャンスもありましたが、得点には至らず、試合終了。1回戦敗退となりました。

この試合で感じたことは

【DFとMFの間が間伸びしやすい】

これは、DFラインの上げ下げが遅いのもありますが、ボランチなどの選手もバランスを意識して対応していれば、相手にスペースを与えずにプレーでき、もっとディフェンスも楽になったのではないのでしょうか。

【FWなどに対する後ろからの声が少ない】

FWに対して、『右切れ!』『左切れ!』といった声が後ろからしっかりかかっているか、FWでコースを限定し、MFで奪うかも一つコースを限定させ、最終ラインで奪い切るといった相手のプレーを限定した状態で守れるはずで、これがチーム全体で出せばもっと効率良く守れるはずです。

【少し遠くてもシュートを打つ意識】

前半は特にシュートを打つ意識が低く、コースが空いているのにわざわざドリブルで仕掛けて行ったり、安全なところへパスしてしまったり…、せっかくコースを狙って打てる力があるのにもったいないと思います。

逆に後半では、意識も強くなり、良いリズムも生まれたと思います。シュートで終わることは攻撃のリズムを作る上でも大事だと再認識して欲しい!

【一つ一つのプレーの雑さ】

相手の速くて激しいプレッシャー、いつもよりボールの伸びる人工芝のグラウンドなど、いつもと違ったり、厳しい環境でのプレーでしたが、その中でも1つのパス・1つのトラップなどを正確にして、次のプレーに繋げることは基本であり、最も大事なことでないでしょうか。今日のような環境でしっかりやるためには、日頃の練習から手を抜かずにやるしかないと思います。

以上、これらのことが挙げられると思います。

総括としては

とにかく、自分たちが雑なパスを送ったり、声を出して確認したり、コースを切ったりということをやればそれだけ相手は自由にプレーできます。つまり、自分たちがサボった分だけ自分たちの首を絞めていることになっていきます。自分たちが落ち着いてプレーしたいなら、一つ一つのプレーや声を大切にしたいです。

3年生はこれから高校に向けて勉強なども忙しくなると思いますが、なるべく顔を出して欲しいです。そして少しでも上のレベルにステップアップできるように頑張りましょう。

2年生はまだ1年間あります。ステップアップするためにもこれからの練習にこの試合で得た課題を生かしていきましょう。

Jrユース 小丸コーチ

心のこもった手紙です。読んでいて励まされます。

矢上代表 暑中お見舞い 申し上げます

少年部で教わったことが今役に立っています。僕がこうしてサッカーができるのは代表やコーチ、両親、みんなの協力があるからだと思います。だから、その人達に感謝しながら練習をして、試合で、積み重ねてきた努力の成果を発揮してコーチのみなさんが(教え甲斐のあるチームだ)と思ってくれるチームになれたらいいなと思います。

今年はチーム創りの1年で、その為にも仲間を大切に、みんなで協力して勝利を目指したいと思います。

チームのみんなは、時には仲間。時にはライバル。そうやって競い合って強いチームを創っていきたくです。

これからも和田監督をはじめ、コーチのみなさんやチームメイトのみんなとGAMBAっていきます。

暑い日が続きますが、お身体に気をつけて、サッカーの指導をGAMBAってください。
南八王子サッカークラブ Jrユース 1年生